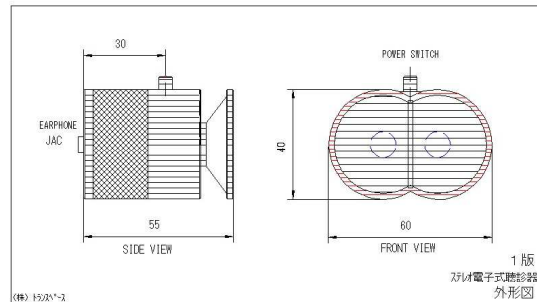


◇ はじめに

この製品は医師のご依頼により開発しています。

従来の聴診器の診療では、医師は微妙で小音量の診察音を耳を澄まして聴き出さなければなりません。しかも本体部が何かに接触すると大きな音が耳に達し気分を害します、そのため扱いを慎重にしています。



本器は僅かな音量を電子的に拡大しステレオヘッドホンで音の場所を特定し任意の音量で聴き出す目的に企画した電子式聴診器です。

診断時に発する音をコンデンサマイクで拾いステレオアンプで増幅した後ヘッドフォンに到達します。またスピーカーでも聴き出すことができます。

生態信号を電子化することにより波形処理を通してレベルの高い診察を可能とします。

従来の聴診器はデスクに置いたり手に持つだけでも衝撃音や心拍音が拾います、本器は大きな増幅率を持ったアンプを内蔵していますが診察対象に触れた後に手元スイッチを押して機能するように計画されています、診察する部屋の雰囲気が騒がしいときは周辺の音を消滅させるヘッドホンを利用して下さい。診察時以外は耳障りな音を拾いません。

従来の聴診器は一箇所音を拾い出していますが本器は僅少ですが距離を隔てた2箇所からの音を聞き出します、そのため音の発生場所を立体的に把握出来るので診察時は的確な判断を下すことが可能です。

聴診時に押すボタン式スイッチは感圧式で音をさらに拡大したい時は一層強く押し込むことで音量は拡大します。

パイプからの水漏れや空気漏れがあると高音域の音を発します、そのような検知目的にも活用できます。

スピーカーをご使用になるとハウリング現象を起し易くなります、手元スイッチはそのためにあり診察対象物に触れていないときは押さないようにお願いします。

◇ 性能

- | | |
|----------|--------------------|
| 1) 音量拡大率 | 30dB ~以上 |
| 2) 電 源 | コイン型 リチウム 電池 × 1 |
| 3) 大 き さ | 診察面 「楕円 60 × 40mm」 |
| 4) 重 さ | 100g 以下 |
| 5) 色 調 | えんじ色 |
| 6) 付 属 品 | 高性能 ヘッドフォン |

◇ ご意見 ご相談をお受けしています。

以上

<http://www.transpace.co.jp>

開発 製造 (株) トランススペース